

第6学年竹組 国語科「感動を言葉に」略案

指導者 佐藤 美由紀

1. 日時 1月18日(金)竹組 2校時(9:20~10:05)
2. ねらい ○様子や動きが生き生きと伝わるよう、自分の感動や発見を表現を工夫して詩を書くことができる。
3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">様子や動きをより生き生きと伝えるためには、どのように工夫したらいいだろう。</div>	◇これまでどんな学習をしてきたのか、児童から引き出す。	◇一言あいさつをしていただく。	
9:22	2. 学習の流れを確認する。	◇次のように進めることを確認する ○センターの先生から、効果的な表現方法を紹介していただく。 ↓ 自分が書いた詩を見直し、アドバイスをいただく。		※事前に児童が書いた作品を何点か送付したいと考えています。
9:25	3. 詩を書くときの表現の仕方を知り、自分の作品を見直す。 ○自分の思いを伝えるためには、どんな表現が効果的か、考えながら見直す。 ○見直した作品をセンターの先生に見せ、アドバイスをいただき、再度見直す。 ○完成した児童は、違うテーマで詩を書いてみる。	◇どんな表現方法にしたらいいか悩んでいる児童を中心に机間指導する。 ◇作品が完成した児童には、アドバイスをいただくよう伝える。	◇詩を書くときの効果的な表現方法をいくつか紹介していただく。(比喩, 倒置, 対比, 擬声語, 繰り返し等) ◇児童が書いた作品や悩んでいる児童へアドバイスをしていただく。 ※カメラに写すとともに、読み上げるよう伝えてください。	※7分くらいでお願いします。
9:57	4. ふり返りをする。	◇ふりかえりのポイントを示す。机間指導し、発表者を選ぶ。		
10:02	5. センターの先生のお話を聞く。		◇今日の学習への取り組み方やこの単元のポイントなどお話ししていただく。	